



平成 29 年 11 月 10 日

第 39 回海洋教育フォーラム やさしい海洋講座
「いま瀬戸内海的环境はどうなっているの？」
を JMS アステールプラザで開催します

広島大学 大学院工学研究科 輸送環境システム専攻と日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会は共催で「海洋教育フォーラム」を開きます。このフォーラムは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。

今回の広島開催のフォーラムでは、「いま瀬戸内海的环境はどうなっているの？」と題して、地元の専門家に詳しく語っていただきます。近年「瀬戸内海の魚や貝がとれなくなった」という声も耳にしますが、「現実的环境はどうなのか?」、「海の幸を守るか」などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

入場無料ですので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

記

【日 時】 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13:00~16:10

【場 所】 JMS アステールプラザ 7F 研修室
(広島市中区加古町 4 番 17 号)

【定 員】 80 名 (入場無料)

【内 容】 以下の講師による講演

瀬戸内海区水産研究所 堀正和 主任研究員

「瀬戸内海の藻場とブルーカーボンについて」

広島大学大学院生物圏科学研究科 加藤亜記 准教授

「瀬戸内海の二ホンアワサンゴ群生地の海藻」

復建調査設計 山本裕規 上席主任エンジニア

「瀬戸内海の家ごみについて」

広島大学環境安全センター 西嶋渉 教授

「瀬戸内海的环境管理について」

【申込方法】 Web, E-mail, FAX 等にて、①ご氏名・②ご所属・③電話番号またはメールアドレスを以下の問合せ先までお知らせ下さい。

※見出しに「海洋教育フォーラム申込」と明記してください。

【申込締切】 11 月 26 日 (日)

【お問い合わせ先】

広島大学大学院工学研究科 輸送環境システム専攻 事務室

Tel : 082-424-7774 FAX : 082-422-7194

E-mail : ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4版 2枚 (本票含む)



いま瀬戸内海の環境は どうなっているの？



「海洋教育フォーラム」とは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。今回の広島開催のフォーラムでは、「いま瀬戸内海の環境はどうなっているの？」と題して、専門家の先生に詳しく語っていただきます。近年「瀬戸内海の魚や貝がとれなくなった」という声も耳にしますが、「現実の環境はどうか?」、「海の幸を守れるか」などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

日時：2017年12月2日（土）13：00～16：10
受付12：30開始

場所：JMSアステールプラザ 7F 研修室
(〒730-0812 広島市中区加古町4番17号)
<http://www.hymca.jp/hall/access/>
バス停：加古町下車徒歩5分



昨年(2016年)の様子 スタッフと講演者(昨年)

対象：一般（定員80名）

参加費：無料（参加者には講演要旨集を配布）

講演内容：

- 13：00～13：15 開会挨拶「海をもっとみんなで知ろう」
(小林正典, 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会委員長)
- 13：15～13：55 瀬戸内海の藻場とブルーカーボンについて
(堀正和, 瀬戸内海区水産研究所 主任研究員)
- 13：55～14：35 瀬戸内海の二ホンアワサンゴ群生地の海藻
(加藤亜記, 広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授)
- 14：35～14：45 休憩
- 14：45～15：25 瀬戸内海のおごみについて
(山本裕規, 復建調査設計 上席主任エンジニア)
- 15：25～16：05 瀬戸内海的环境管理について
(西嶋渉, 広島大学環境安全センター 教授)
- 16：05～16：10 閉会挨拶
(作野裕司, 広島大学 准教授, 第39回海洋教育フォーラム実行委員会委員長)

参加申し込み（要事前予約）：

下記のURLサイト（右下QRコード有），FAX，E-mailなどにてお申込みください。FAX，メールの場合，見出しに，「海洋教育フォーラム申込」と明記し，①氏名，②所属，③電話番号，④メールアドレスをご記入の上，以下のFAXまたはE-mailアドレスにお送りください。締切は11/26(日)です。

URL: <https://www.jasnaoe.or.jp/mecc/event.html>

FAX: 082-422-7194

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp

共催：日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会，
広島大学大学院工学研究科輸送環境システム専攻

後援：広島市教育委員会，教育新聞社

